

## 住民意向調査速報版（大熊町）の公表について

原発事故による避難者等に対する住民意向調査について、大熊町の住民を対象とした調査結果を取りまとめました。

### 1. 調査概要

#### 大熊町

調査主体	復興庁、福島県、大熊町
調査対象	世帯の代表者（5,109 世帯）
実施期間	令和 7 年 11 月 4 日～11 月 18 日
回答者数	1,664 世帯（回収率 32.6%）

### 2. 調査結果のポイント

別紙のとおり

本件連絡先

（制度班）担当：高藤、松岡

電話：03-6328-0250（直通）

## 大熊町調査結果のポイント

- ・将来の帰還意向やその判断の前提となる情報、帰還した場合に行政に望む支援等の把握を目的に実施。
- ・復興庁、福島県、大熊町の共同調査は12回目。

### （１）帰還の意向

すでに大熊町に戻っている	6.3%（5.0%）
戻りたいと考えている（将来的な希望も含む）	12.8%（13.4%）
まだ判断がつかない	24.2%（24.5%）
戻らないと決めている	54.9%（55.3%）

※（カッコ）書きは、それぞれ前回調査（R6.9）結果

### （２）帰還を判断するために必要なこと（上位抜粋）

病院、道路、公共交通などの社会基盤（インフラ）の復旧時期の目途	67.4%（66.0%）
住宅確保への支援に関する情報	40.5%（38.4%）
小売店、飲食店等の営業情報	36.3%（39.0%）
どの程度の住民が戻るかの状況	31.1%（32.9%）
働く場の確保の目途	31.1%（27.4%）

※帰還の意向で「まだ判断がつかない」と回答した世帯のみ回答

### （３）戻らないと決めている理由（上位抜粋）

すでに生活基盤ができているから	63.7%（63.2%）
避難先の方が、生活利便性が高いから	44.0%（42.0%）
医療環境に不安があるから	30.6%（32.7%）
生活に必要な商業施設などが不足しているから	25.5%（26.8%）
家が住める状況ではないから	22.3%

※帰還の意向で「戻らないと決めている」と回答した世帯のみ回答

※令和7年度からの新規回答項目については、令和7年度結果のみ掲載